京都府 報道発表資料

府政記者室、各広域振興局　同時資料配付

令和８年 10 月 29 日

地域で支えあう農村づくりの取組を報告

～農村ＲＭＯ事例報告会を１１月６日に開催～

■京都府では、中山間地域等において人口減少・高齢化に対応できるよう農村ＲＭＯ※の形成に取り組む地域を支援しています。
■１１月６日に「地域の計画・ビジョンを実行に移す」をテーマに、弘前大学 平井教授を迎え、農村づくりの取組の横展開と地域間のつながり強化を図る事例報告会を開催しますので、取材をお願いします。

※複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

１　日　　時　令和８年１１月６日（金）　１３：００～１８：００
（第１部）講師講演　１３：２０～１４：００
（第２部）事例報告　１４：００～１５：００
（第３部）ワークショップ（参加者との意見交換）　１５：００～１８：００

２　場　　所
北部産業創造センター（２階多目的ホール）（綾部市青野町西馬場下 33 番地の１）

３　講演内容
講師：平井太郎（ひらいたろう）（弘前大学大学院地域社会研究科　教授）
内容：地域づくりの実践や研究に携わる立場から、全国事例を基に、地域のビジョンや計画を実行につなげるための考え方や進め方、地域の実情に応じた小さな取組から段階的に発展していく「スモールスタート」による取組の展開手法などについて講演いただく。

４　報告内容
○南丹市摩気地区（８集落）
ラジコン草刈機の共同利用、地域の厄介者である竹を活用した摩氣米などの特産品づくり、摩氣神社の歴史と美しい里山の四季の風景、これらを一つのストーリーとして発信中。摩気交流農園や子ども未来塾で、みんなが活躍する支え合いの地域作りに挑戦している。
○伊根町伊根地区（３３集落）
GIS を活用した農地管理や農作業の省力化、新たな農水産加工品の開発、移住・定住の促進に向けた漁業体験ツアーなど、地域の課題や資源を踏まえた多様な取組を進め、人と人とのつながりを育みながら「にぎわいあふれる伊根」を目指している。

５　参 加 者
農村ＲＭＯ取組検討地区、地域づくりに取り組む・関心のある地域（計５０名程度）

６　主　　催
京都府農林水産部農村振興課

【本報道発表に関するお問合せ】
農林水産部農村振興課　理事　小塩　TEL 075-414-4905
参事　嶋渡　TEL 075-414-5038

京都府農村RMO

事例報告会

京都府で持続可能な地域運営体制を整えるため取り組んでいる農村RMO形成支援事業。今年度は「南丹市摩気地区」と「伊根町伊根地区」が完了を迎えます。これまでの事業経過や成果、これからの活動方針についてご報告します。

日時：11月6日 13:00−17:00　受付開始 12:45〜

会場：北部産業創造センター 2F多目的ホール
（綾部市青野町西馬場下33番地の１）

map

第１部　ゲスト講演（１３：２０〜）

弘前大学大学院 地域社会研究科 教授　**平井　太郎**

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。地域社会における合意形成のアクション・リサーチ（応用社会学）を専門とし、福祉、農林水産業や観光振興、公共施設計画・管理など幅広い分野について、草の根の活動から自治体の政策形成までフィールドとしている。

第２部　事例報告（１４：００〜）

南丹市摩気地区

農地保全でのラジコン草刈機の共同利用、地域の厄介者である竹を活用した摩氣米などの特産品づくり、摩氣神社の歴史と美しい里山の四季の風景、これらを一つのストーリーとして発信中。摩気交流農園や子ども未来塾で、皆んなが活躍する支え合いの地域作りに挑戦している。

伊根町伊根地区

GISを活用した農地管理や農作業の省力化、新たな農水産加工品の開発、移住・定住の促進に向けた漁業体験ツアーなど、地域の課題や資源を踏まえた多様な取組を進め、人と人とのつながりを育みながら「にぎわいあふれる伊根」を目指している。

第３部　意見交換（１５：００〜）

参加者同士で語り合いながら、地域のビジョン・計画を実践に移していくヒントや知恵を一緒に見つけていきましょう！

交流会（17：００〜１８：００）

意見交換で話し足りなかったことや、もっと聞いてみたいこと、地域づくりに取り組む中での悩みなどを、参加者同士で気軽に語り合う交流会です。
話してみたい人とつながり、新たな気づきや活動のヒントを見つけませんか？
ぜひお気軽にご参加ください！

お申込みは
右の二次元コードから！

申込〆切：10／26（月）

主催：京都府農林水産部農村振興課
移住・地域連携支援係（伊藤・岩城）
TEL：075-414-4917　MAIL：noson@pref.kyoto.lg.jp